

公共事業事前評価調書(平成24年度新規事業)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	仲田港港湾改修事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	伊是名村					
事業の諸元	岸壁延伸 L=26m					
事業の概要	<p>仲田港は本部半島の北約28kmの伊是名島の東側に位置する地方港湾である。本港は沖縄本島北部の運天港上運天地区から定期船のフェリー伊是名が1日2往復しており、伊是名島住民の重要な生活航路として島の生活物資や建設資材等の搬入のほか、地元の小型船等も利用している。産業バースについては、建設資材等の搬入のほか、伊是名村の主要な産業となっているサトウキビからの砂糖原料の出荷等にも利用されており、伊是名村にとって重要な施設となっている。しかし、近年大型化している船舶に対し、岸壁の延伸が不足していることから安全な係留が出来ていない状況である。そのため、産業バースの岸壁を延伸し、船舶係留時の安全性の確保を図る。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》                  昭和49年～56年にかけて整備された岸壁(-4.5m)、(-5.5m)の産業バースを利用する船舶は、近年大型化してきているが、利用船舶に対し岸壁延長が短いことから、船首側の係留索が斜め方向に確保できない状況にある。加えて港口方向に位置することから外海波が進入しやすく、荒天時の波高やうねりの影響を受けやすいため、船舶の安全かつ円滑な係留及び荷役作業に支障がある状況にある。伊是名村の産業振興にとって重要な施設である産業バースにおいて、このような状況を改善するため岸壁を延伸し、係留施設の整備を行う必要がある。</p> <p>《効果》                  産業バースの安全性を確保することで、伊是名村民の安定した生活の確保および北部地域の物流機能の確保・強化を図られる。</p>					
事業期間	事業採択	平成 24年度	完了(予定)	平成 26年度		
全体事業費	1.3 (億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10	
費用対効果	B/C = 2.07	総便益: B (億円) 2.7億円	総費用: C (億円) 1.3億円	基準年		平成24年
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において位置付けがある。					
環境への配慮	近くに、ダイビングスポットや特定区画漁業権区域があることから、事業の実施にあたっては詳細な環境調査を実施し、対策を検討する。					
関係する地方公共団体等の意見	伊是名村から要望がある。					
概要図(位置図)						